



岐阜県政記者クラブ加盟社 各位  
中津川記者会同時配布資料

令和4年10月20日（木）岐阜県発表資料		
担当課	担当者	電話番号
恵那県事務所環境課	環境課長 奥村 一信	代表 0573-26-1111 (内線215) FAX 0573-25-7129

## 中津川市瀬戸<sup>せと</sup>地内における土壤汚染について

東海旅客鉄道株式会社が中央新幹線瀬戸トンネルの非常口トンネル掘削工事に伴い発生した土壤を調査したところ、土壤汚染対策法に規定する土壤溶出量基準を超過する「ヒ素」が検出されたため、本日（10月20日）、同社から恵那県事務所に報告がありました。

### 1 報告内容

#### (1) 所在地

中津川市瀬戸地内

「中央新幹線瀬戸トンネル新設」の非常口トンネル工事現場

#### (2) 調査結果の概要

項目	調査検体数	基準超過検体数	調査結果	土壤溶出量基準	基準超過倍率
ヒ素	1	1	0.013 mg/L	0.01 mg/L 以下	1.3 倍

※非常口トンネル開口部から約280mの地点。

※その他の物質についても調査を実施していますが、基準超過はありません。

### 2 汚染の原因

周辺地域に工場・事業場はなく、自然由来による汚染の可能性が高いと考えられます。

### 3 今後の対応

#### (1) 地下水調査について

今後も工事の延伸に伴い、基準値を超えてヒ素が検出される可能性があるため、県は、中津川市の協力を得て、基準超過地点から本線トンネル接続地点までの区間において、「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき、半径250mの範囲内で井戸水の利用状況調査及び水質検査を実施します。

#### (2) 地域住民への情報提供について

井戸水を利用している場合は、水質検査結果が判明するまでの間、飲用自粛を呼びかけます。

#### (3) 事業者に対する指導について

汚染土壤の適正な管理等を行うよう指導します。

～参考～

【ヒ素とは】

ヒ素はもともと自然界に存在しており、環境中から検出されていますが、これらは主に地質由来のものと考えられています

ヒ素の摂取による急性の中毒症状としては、めまい、頭痛、四肢の脱力、全身疼痛、麻痺、呼吸困難、角化や色素沈着などの皮膚への影響、下痢を伴う胃腸障害、腎障害、末梢神経障害が報告されています。また、慢性の中毒症状としては、ヒ素に汚染された井戸水を飲んだことによって、皮膚の角質化や色素沈着、末梢性神経症、皮膚がん、末梢循環器不全などが報告されています。

参考：化学物質ファクトシート-2012年版-（環境省）